

結婚、出産、子育て支援、少子化対策、
移住・定住・関係人口創出・拡大、
中小企業DXなどの地域課題解決に向けた
地方創生の取組をデジタルの力を活用して
加速化・深化のための戦略を策定しました。

第4部

門真市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

01 はじめに

02 基本方針

1. 門真市第6次総合計画改訂版との関係
2. 計画期間

03 目標・基本的方向・

具体的施策・
重要業績評価指標（KPI）

1. 目標
2. 基本的方向
3. 具体的施策・重要業績評価指標（KPI）
 - (1) 子育て分野
 - (2) 教育分野
 - (3) 健康管理分野
 - (4) 福祉分野
 - (5) まちづくり分野
 - (6) 環境分野
 - (7) 上下水道分野
 - (8) 地域振興分野
 - (9) 産業振興分野
 - (10) 地域教育振興分野
 - (11) 危機管理分野
 - (12) 行政管理分野

Attenir

AROUND
ぐるっと
INSIDE & OUTSIDE
うちとそと

急激な人口減少・少子高齢社会の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過剰の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、国は、平成26（2014）年11月に「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号。以下「創生法」という。）を制定し、同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

創生法第10条において、市町村は、国の総合戦略を勘案し、地域の実情に応じた総合戦略の策定に努めるものとされていることから、本市においても、平成27（2015）年10月に「第1期門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。令和元（2019）年12月には、国が「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、本市においても、「門真市第6次総合計画」に包含する形で、令和2（2020）年3月に「第2期門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組を進めてきました。

その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、地域経済は大きな打撃を受け、また地域コミュニティの弱体化等、地方は大きな影響を受けました。他方、新型コロナウイルス感染症の影響により、デジタル・オンライン

の活用が加速化し、時間と場所に捉われない生活や働き方が可能になりました。

国は、新たな地方創生の方針として、デジタルの力で「全国どこでも誰もが快適に暮らせる社会」をめざす「デジタル田園都市国家構想」を示し、令和4（2022）年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。このことを踏まえ、結婚、出産、子育て支援、少子化対策、移住・定住・関係人口創出・拡大、中小企業DX等の地域課題解決に向けた地方創生の取組をデジタルの力を活用して加速化・深化させていくために、「門真市第6次総合計画改訂版」（以下、「門真市総合計画」という。）に包含する形で、「門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「門真市総合戦略」という。）を策定しました。

門真市第6次総合計画



令和7（2025）年
3月策定（改訂版）

令和2（2020）年
3月策定

（12分野・41基本施策）、「具体的施策」は門真市総合計画の「基本計画」基本施策毎（12分野・41基本施策）に記載している「実施方針」としてあります。

門真市総合計画において、全ての「基本目標」は全ての「基本施策（12分野・41基本施策）」と関連があるという考えのもと、「基本目標」と「基本施策（12分野・41基本施策）」の明確な紐づけはしておらず、総合的かつ体系的に「基本施策（12分野・41基本施策）」を実施することと、全ての「基本目標」を達成することとしてあります。

門真市第6次総合計画改訂版

施策体系

※令和7（2025）年3月発行



門真市まち・ひと・しごと

創生総合戦略



門真市第6次総合計画改訂版

基本施策

※令和7（2025）年3月発行

1. 門真市第6次総合計画改訂版との関係

門真市総合計画は、令和11（2029）年度までの将来を展望し、まちづくりの基本的な方向性と4つの基本目標を定めた「基本構想」、「基本構想」に定める4つの基本目標を、総合的かつ体系的に推進するため、12の行政各分野・41の基本施策を明らかにした「基本計画」、基本計画における諸施策の効果的な実施のための指

針で、その基礎となる具体的な事業を定めた「実施計画」の3層で構成されています。

門真市総合戦略は、門真市総合計画に包含する形となり、創生法第10条で定めるところとされている「目標」は、門真市総合計画の4つの「基本目標」とし、「基本的方向」は門真市総合計画の「基本計画」に記載の全ての「基本施策

2. 計画期間

令和7（2025）年度から令和11（2029）年度までの5年間とします。

03

目標・基本的方向・具体的施策・重要業績評価指標（KPI）

1. 目標

門真市総合戦略の「目標」は、「門真市総合計画」の「基本目標」になります。

- 目標1** 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現
- 目標2** 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現
- 目標3** 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現
- 目標4** 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現

2. 基本的方向

門真市総合戦略の「基本的方向」は、「門真市総合計画 基本計画」に記載の全ての「基本

施策（12分野・41基本施策）になります。

①子育て	1 みんなで支え合う子育て環境づくり 2 母子保健の充実 3 子育て世帯への支援 4 就学前教育・保育の充実
②教育	1 学校教育の推進 2 児童・生徒の健全育成 3 学校施設と教育環境の充実
③健康管理	1 生涯を通じた健康づくりと病気の予防対策 2 健康保険制度の適正な運営
④福祉	1 地域福祉の推進 2 高齢者への支援 3 障がい児（者）等への支援 4 生活保障と自立支援
⑤まちづくり	1 まちの顔づくり 2 快適な住まい環境の充実 3 憩いの場の充実 4 公共交通の充実 5 快適な道路環境の形成
⑥環境	1 地球環境保全 2 生活環境保全 3 快適に暮らせる生活基盤の整備
⑦上下水道	1 上下水道施設の基盤強化 2 下水道施設の基盤強化
⑧地域振興	1 地域の絆づくりとコミュニティの活性化 2 市民公益活動と協働・共創の促進 3 安全・安心な暮らしを支える体制づくり 4 平和と人権の尊重 5 多文化共生社会の形成
⑨産業振興	1 地域産業の強化と発展 2 就労支援と雇用促進
⑩地域教育振興	1 地域教育環境の充実 2 暮らしに息づく文化芸術の推進 3 文化資源の活用と保存・継承 4 市民スポーツの振興
⑪危機管理	1 危機管理と災害時対策 2 市民の危機管理意識の向上 3 消防・救急医療体制の充実
⑫行政管理	1 効率的・効果的な行政運営 2 広報・情報発信の充実 3 シティプロモーションによる定住促進 4 公共施設の適正管理

3. 具体的施策・重要業績評価指標（KPI）

門真市総合戦略の具体的施策は、「門真市総合計画 基本計画 基本施策（12分野・41基本施策）」に記載している「実施方針」に、重要業績評価指標（KPI）は、「門真市総合計画 基

本計画 基本施策（12分野・41基本施策）」に記載している「施策の成果を測る指標」になります。

※ KPIの「現状」・「目標」について、年度の記載がないものは下記のとおり「現状」…令和5（2023）年度「目標」…令和11（2029）年度

1

子育て分野

01

みんなで支え合う子育て環境づくり

- ①子どもを真ん中においたネットワーク体制の推進
- ②地域子育て支援の充実
- ③育児負担・育児不安の軽減

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
①放課後児童クラブの待機児童数	0 人	0 人
②子どもの未来応援団員から情報提供を受けて支援に動きだした件数	195 件	300 件

02

母子保健の充実

- ①相談・支援体制の充実
- ②乳幼児健康診査の受診率向上

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
①4か月児健康診査対象者の受診率	4か月児 88.3 %	4か月児 98.0 %
1歳6か月児健康診査対象者の受診率	1歳6か月児 90.0 %	1歳6か月児 97.0 %
3歳6か月児健康診査対象者の受診率	3歳6か月児 91.1 %	3歳6か月児 95.0 %
②妊娠11週以下での妊娠の届出率	95.8 %	99.8 %

03

子育て世帯への支援

- ①相談・支援体制の充実
- ②子育て世帯の経済的負担の軽減
- ③保育サービスの提案による子育て負担の軽減

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
①保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていると思う人の割合	70.8 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②要保護児童連絡調整会議による新規登録件数	369 件	286 件

04

就学前教育・保育の充実

- ①子育て支援サービスの充実や教育・保育の質の向上
- ②教育・保育施設等における子どもの受け皿の確保

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
①年度末時点の保育所等の待機児童数	4 人	0 人
②門真市は安心して楽しく子育てができる環境だと思う人の割合	30.7 % 令和6（2024）年度	70.0 %

- ①病気の予防対策の推進
②各種がん検診の受診促進
③生活習慣の改善に向けた啓発等の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①健康寿命の大阪府平均との差	男：△1.44 歳 女：△0.86 歳 令和4（2022）年度	男女共に 0 歳以上
②がん検診の受診率	肺がん検診：10.4 % 胃がん検診：1.6 % 大腸がん検診：6.2 % 子宮がん検診：8.3 % 乳がん検診：6.0 %	各種検診 50.0 %
③麻しんの予防接種率	第1期：81.5 % 第2期：89.4 %	第1期：95.0 % 第2期：95.0 %

01

生涯を通じた健康づくりと病気の予防対策

3

健康管理分野

- ①ジェネリック医薬品普及率向上
②健康診査受診率の向上
③健康保険制度の周知啓発

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①特定健康診査受診率	29.4 %	60.0 %
②健康診査受診率【後期高齢者医療】	27.9 %	40.0 %

02

健康保険制度の適正な運営

- ①一人ひとりの課題に応じた教育の推進
②安心して学べる環境づくり
③教職員の指導力の向上

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①全国学力・学習状況調査の標準化得点 （全国を100とした時の相対的な比較数値）	小学校：96.8 中学校：96.7 令和6（2024）年度	小学校：105 中学校：105
②授業の中で、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童・生徒の割合（全国学力・学習状況調査）	小学校：79.7 % 中学校：80.3 % 令和6（2024）年度	小学校：85.0 % 中学校：85.0 %

01

学校教育の推進

- ①地域等との連携の強化
②いじめ防止・不登校減少に向けた取組の推進
③小中一貫教育・キャリア教育・国際化の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する肯定的意見の割合（小6、中3の平均）	81.9 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②子どもが健やかに成長していると 感じている人の割合	74.4 % 令和6（2024）年度	90.0 %
③小学5年生の体力合計点の国との比較 （本市平均点／全国平均点）	93.6 %	105.0 %

02

児童・生徒の健全育成

- ①多様なつながりを創る学校づくりと学校の適正配置
②ICT指導の能力向上
③学校施設の計画的な維持・整備

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①トイレの洋式化率	62.7 %	70.0 %
②「授業でパソコンを使って自分のペースで学ぶことができる」と思う児童・生徒の割合	新設	100.0 %

03

学校施設と教育環境の充実

2

教育分野

②教育

具体的
施策

- ①第二京阪道路沿道まちづくりの推進
- ②駅周辺地区まちづくりの推進
- ③密集市街地整備事業の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①地震時等に著しく危険な密集市街地の面積	63 ha	24 ha
②市街化区域の割合	97.5 %	100.0 %
③主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合	35.3 % 令和6（2024）年度	70.0 %

01

まちの顔づくり

具体的
施策

- ①市営住宅の管理と改善整備
- ②空家等対策の推進
- ③安全・安心でゆとりある良好な住環境の確保

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①住宅の耐震化率	88.1 % 令和2（2020）年度	95.0 %
②空き家率	17.0 %	15.2 %

02

快適な住まい
環境の充実

具体的
施策

- ①水路の保全と親水空間の創出
- ②公園施設の長寿命化
- ③みどりと公園の整備

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①市民1人当たりの公園面積	1.21 m ²	2.00 m ²
②市内緑化の年間増加面積	3,877 m ²	4,000 m ²
③長寿命化対策を実施した公園施設数	13 箇所	20 箇所

03

憩いの場の充実

具体的
施策

- ①公共交通の結節点と周辺整備
- ②地域公共交通ネットワークの構築
- ③大和田駅前広場の整備

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①大和田駅前南側広場の整備	未整備	整備完了
②バスや鉄道等の公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合	68.4 % 令和6（2024）年度	80.0 %

04

公共交通の充実

具体的
施策

- ①道路施設の長寿命化
- ②交通安全施設の整備
- ③安全・安心な道路空間の整備の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①都市計画道路整備延長	25.25 km	26.04 km
②年間歩道改良箇所数	3 箇所	5 箇所
③年間交通事故発生件数	370 件	300 件

05

道路環境の形成

5

まちづくり分野

具体的
施策

- ①地域福祉の担い手確保への支援
- ②住民相互の助け合いの推進
- ③包括的な支援体制の整備を推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていると思う割合	79.3 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②小地域ネットワーク活動件数	個別援助活動：9,143 件 グループ援助活動：34,679 件	個別援助活動：12,000 件 グループ援助活動：36,000 件

01

地域福祉の推進

具体的
施策

- ①高齢者等の孤立死防止、終末期の不安の軽減
- ②認知症高齢者等の見守り体制の強化・推進
- ③介護予防教室等の充実

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①認知症サポーター養成者数（累計）	8,186 人	9,000 人
②前期高齢者の要支援・要介護認定率の割合	7.1 %	4.5 %

02

高齢者への支援

具体的
施策

- ①障がい児施策の充実
- ②社会参加の促進
- ③切れ目のない重層的な支援体制の構築

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていると思う人の割合	80.7 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②障害者差別解消法を知っている市民の割合	20.6 % 令和6（2024）年度	60.0 %

03

障がい児（者）等への支援

具体的
施策

- ①自立に向けた就労支援
- ②日常生活の健康マネジメント

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①15～64歳における生活保護率（人口比）	2.8 %	1.5 %
②健康管理指導による改善率	53.0 %	85.0 %

04

生活保障と自立支援

4

福祉分野

④福祉

具体的
施策

- ①災害に強い水道施設の更新
- ②災害に強い水道管の更新

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①管路の耐震化率	25.4 %	32.1 %
②配水池の耐震化率	56.3 %	83.5 %
③ポンプ所の耐震化率	70.3 %	100.0 %

01

上下水道施設の基盤強化

7

上下水道分野

具体的
施策

- ①下水道施設の老朽化対策
- ②下水道施設の総合的な地震対策
- ③下水道未整備地域の解消に向けた整備の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①下水道の処理人口普及率	97.9 %	99.8 %
②下水道による浸水対策達成率	90.8 %	94.0 %

02

下水道施設の基盤強化

具体的
施策

- ①環境学習の推進
- ②省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進
- ③ごみの減量化の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①市民一人一日当たりのごみ排出量	919 g	870 g
②温室効果ガスの総排出量	22,300 t-CO ₂	19,685 t-CO ₂

01

地球環境保全

6

環境分野

具体的
施策

- ①公害対策の実施
- ②環境美化意識の高揚
- ③美しいまちづくり活動の促進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①清掃活動の参加者数	4,564 人	6,000 人
②公害が少ない環境の良いまちだと思う市民の割合	42.9 % 令和6（2024）年度	70.0 %

02

生活環境保全

具体的
施策

- ①ごみ出し困難者への支援
- ②ごみ焼却施設等の適切な運転維持管理
- ③ごみ・し尿等の適正な処理

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①ふれあいサポート収集の利用世帯数	91 世帯	200 世帯

03

快適に暮らせる生活基盤の整備

⑥ 環境

用資料
集編

- 具体的
施策
- ①農業の保全と地産地消の促進
 - ②企業の成長発展への支援
 - ③経営基盤強化への支援

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①市内に事業所を有する全産業における付加価値額	3,299 億円 令和3（2021）年度	3,391億円 ×（2020年-2030年 国内実質GDP伸び率）を上回る こと
②活発な工業活動ができるような 環境になっていると感じる市民の割合	82.1 % 令和6（2024）年度	90.0 %

01

地域産業の強化と発展

9

産業振興分野

- 具体的
施策
- ①労働環境の向上
 - ②女性や高齢者等の活躍推進
 - ③就労及び雇用の促進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①市内常住の市内従業員の割合	32.0 % 令和2（2020）年度	33.2 %
②【女性】市内常住の市内従業員の割合	43.4 % 令和2（2020）年度	45.0 %

02

就労支援と雇用促進

- 具体的
施策
- ①イベントを通じた地域の絆づくりの支援
 - ②地域コミュニティへの支援

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①互いに助け合い、支え合う地域のつながりが できていると思う割合	79.3 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②地域の活動に今後参加したいと 考えている市民の割合	23.8 % 令和6（2024）年度	70.0 %

01

地域の絆づくりと
コミュニティの活性化

- 具体的
施策
- ①より効果的な市民の公益活動の促進
 - ②市民の公益活動に対する支援の充実
 - ③公民連携の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①大学・企業との包括連携事業実績数	48 回	60 回
②NPO法人やボランティア活動に 参加している人の割合	16.5 % 令和6（2024）年度	60.0 %

02

市民公益活動と
協働・共創の促進

- 具体的
施策
- ①複雑化する消費者被害の予防・啓発と相談体制の充実
 - ②市民からの多様な相談に対応できる相談体制の充実

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①消費相談あっせん率	10.0 %	20.0 %
②無料法律相談の稼働率	80.4 %	90.0 %

03

安全・安心な暮らしを
支える体制づくり

- 具体的
施策
- ①男女共同参画の促進
 - ②更生保護活動の促進
 - ③人権啓発活動の推進と人権相談の充実

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①人権講座の年間延べ参加人数	161 人	500 人
②女性相談の利用者数	2,371 人	5,000 人
③平和で人権が守られていると 感じる人の割合	76.9 % 令和6（2024）年度	90.0 %

04

平和と人権の
尊重

- 具体的
施策
- ①外国籍市民への生活支援
 - ②多言語対応の推進
 - ③互いの文化を理解しあう環境づくり

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①在住外国人と活発に交流できていると 思う人の割合	81.0 % 令和6（2024）年度	90.0 %
②国外の都市との交流が行われていると 思う人の割合	81.3 % 令和6（2024）年度	90.0 %

05

多文化共生社会の
形成

8

地域振興分野

- ①災害時の情報伝達の充実
②災害対応力の向上
③大規模災害に備えた防災体制の充実

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①災害協定締結数	52	60
②門真市は犯罪や事故、災害の心配が少ない安全・安心なまちだと思ふ人の割合	24.7 % 令和6（2024）年度	60.0 %

01

危機管理と災害時対策

11

危機管理分野

- ①防犯体制の強化と市民の防犯意識の向上
②地域の防災意識の向上
③災害に対する日ごろの備えと心づもりの醸成

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①「あなたは、災害に向けた備えをしていますか。」で、「最寄りの避難場所を確認している」と回答した割合	53.4 % 令和6（2024）年度	80.0 %
②「あなたは、災害に向けた備えをしていますか。」で、「非常持出袋を準備している」と回答した割合	32.9 % 令和6（2024）年度	70.0 %
③門真市の刑法犯認知件数	1,406 件	700 件

02

市民の危機管理意識の向上

- ①救急医療体制の充実
②地域消防の担い手と活動環境の確保
③消防力の充実強化と消防組合及び消防団との連携

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①建物火災発生件数	25 件	10 件
②救急医療情報キット年間申請者数	43 人	50 人

03

消防・救急医療体制の充実

- ①行ってみたく文化・学習の交流拠点の整備
②活動拠点の適正管理の推進

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①生涯学習活動をしたことがある人の割合	31.1 % 令和6（2024）年度	70.0 %
②図書館を利用したことがある人の割合	32.9 % 令和6（2024）年度	70.0 %

01

地域教育環境の充実

10

地域教育振興分野

- ①市民の文化芸術活動の支援や文化に親しむ場・機会づくり
②文化芸術活動の活性化に向けた支援

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①ルミエールホールの稼働率	47.9 %	60.0 %
②文化関係のサークル活動や団体に参加している市民の割合	8.4 % 令和6（2024）年度	60.0 %

02

暮らしに息づく文化芸術の推進

- ①文化資源の保存と継承
②本市の文化資源に愛着を持つことができる環境の醸成

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①歴史資料館の年間入館者数	749 人 令和4（2022）年度	6,000 人
②市民学芸員年間活動回数	2 回	24 回

03

文化資源の活用と保存・継承

- ①スポーツ活動推進体制の充実
②スポーツ・レクリエーション活動への支援

重要業績評価指標（KPI）

指標名	現状	目標
①スポーツ・レクリエーション事業への参加者数	6,923 人	9,000 人
②スポーツ・レクリエーション事業参加者のうち、過去1年間に全くスポーツ・レクリエーション活動をしなかった人の割合	28.1 %	15.0 %

04

市民スポーツの振興

門真市第6次総合計画〈改訂版〉

具体的
施策

- ① 利用しやすい快適な行政サービスの推進
- ② デジタル技術を活用した行政事務の効率化・省力化
- ③ 効率的・効果的な窓口サービスの推進

01

効率的・効果的な
行政運営

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
① 迅速で明るく、わかりやすい 窓口サービスがなされていること	70.9 % 令和6（2024）年度	90.0 %
② 市役所職員の対応・行動が「良い」と 感じている人の割合	67.4 % 令和6（2024）年度	80.0 %

具体的
施策

- ① 情報公開の推進
- ② 広報紙の発行と紙面の充実
- ③ インターネットを活用した情報発信の充実

02

広報・情報発信の充実

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
① 広報かどまを「よく見る」と回答した 市民の割合	43.0 % 令和6（2024）年度	70.0 %
② Xフォロワー数	6,100 人	6,350 人

具体的
施策

- ① 積極的なプレスリリース
- ② 戦略的なシティプロモーションの展開
- ③ 門真市ふるさと大使によるプロモーション

03

シティプロモーションに
よる定住促進

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
① 20～30代の転出超過数	73 人	△120 人
② 市民の地域推奨意欲	5.6 % 令和6（2024）年度	50.0 %

具体的
施策

- ① 施設総量の適正化
- ② 公共施設マネジメントの推進

04

公共施設の適正管理

重要業績評価指標（KPI）		
指標名	現状	目標
① 公共施設を利用する市民の満足度	67.3 % 令和6（2024）年度	80.0 %
② 公共施設の延床面積の削減率	—	12.5 %

分野	施策番号	【指標番号】指標名	策定時	目標値	指標として設定する理由	目標値の考え方・積算など	指標の典拠・定義など
健康管理分野	③-1	【18】 麻しんの予防接種率	第1期 81.5% 第2期 89.4% (2023年度)	第1期 95.0%	感染症まん延防止に向け、予防接種率の向上が重要であるため、指標として設定。	厚生労働省指針に基づき、2回の予防接種において、それぞれの接種率が95%以上となることの達成を目標に掲げていることから、目標値を設定した。	出典：平成19年に厚生労働省が定めた「麻しんに関する特定感染症予防指針」／定義：第1期及び第2期それぞれにおいて、予防接種を受診した人の割合
	③-2	【19】 特定健康診査受診率	29.4% (2023年度)	60.0%	健康寿命の延伸及び医療費の適正化につなげるため、特定健康診査受診率を向上させ、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することが重要であることから、指標として設定。	国が定める方針を踏まえ、目標値を設定した。	出典：特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針／定義：特定健康診査を受診した人の割合
		【20】 健康診査受診率【後期高齢者医療】	27.9% (2023年度)	40.0%	健康診査受診率を向上させ、被保険者のQOLの向上や生活習慣病の早期発見による重症化予防等を図ることが重要であることから、指標として設定。	本市実績及び大阪府後期高齢者医療広域連合の「データヘルス計画」の目標設定の伸び率等を勘案し、目標値を設定した。	出典：大阪府後期高齢者医療広域連合「データヘルス計画」／定義：健康診査を受診した人の割合
	④-1	【21】 互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていると思う割合	79.3% (2024年度)	90.0%	誰もが安心して暮らせる地域共生のまちを実現するため、助け合い・支え合う地域のつながりがあると感じる市民の割合を増やしていくことが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
福祉分野		【22】 小地域ネットワーク活動件数	個別援助活動 9,143件 グループ援助活動 34,679件 (2023年度)	個別援助活動 12,000件 グループ援助活動 36,000件	地域の高齢者や障がい児(者)、子育て中の親と子等、見守りや支援を必要とする人々が地域の中で孤立することなく、安心して生活ができるよう、地域住民が主体となった支え合い活動を推進することが重要であることから、指標として設定。	これまでの活動件数を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：小地域ネットワーク活動の件数
	④-2	【23】 認知症サポーター養成者数(累計)	8,186人 (2023年度)	9,000人	地域で高齢者を支える体制を構築するため、サポーターによる認知症早期発見、早期対応を図り重症化を防ぐことが重要であることから、指標として設定。	大阪府内平均値を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：認知症サポーター養成講座参加者数
		【24】 前期高齢者の要支援・要介護認定率の割合	7.1% (2023年度)	4.5%	高齢者自らが元気に地域で暮らしている環境づくりを推進するため、介護予防に取り組む高齢者を増やし、健康寿命の延伸を図ることが重要であることから、指標として設定。	介護保険要介護(要支援)認定者数から設定した。	出典：門真市／定義：介護保険要介護(要支援)認定者数より算出
	④-3	【25】 障がい者が自立しながら安心して暮らせる環境ができていると思う人の割合	80.7% (2024年度)	90.0%	障がいの有無によって分け隔てられることなく、地域社会で安心して暮らせるまちを推進するため、障がい者が安心して暮らせる環境整備の一環の充実を図る必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
		【26】 障害者差別解消法を知っている市民の割合	20.6% (2024年度)	60.0%	障害者差別解消法で求められる取組や考え方を、広く社会に浸透させることが重要であるため、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「知っている」と回答した割合
	④-4	【27】 15歳～64歳における生活保護率(人口比)	2.8% (2023年度)	1.5%	生活相談や健康相談、就労相談等の体制整備に努め、自立の助長を促進していくため、生活保護率の状況を表す必要があることから、指標として設定。	生活困窮者への相談・支援の充実を図ることにより、自立した生活を送る受給者を増やすことをめざす。	出典：門真市／定義：門真市の人口に対する15歳～64歳の生活保護受給者数
		【28】 健康管理指導による改善率	53.0% (2023年度)	85.0%	健康管理や医療相談、生活状況の把握等の必要な事項を実施し、扶助費の適正化を図る必要があることから、指標として設定。	生活困窮者への健康管理や医療相談等の扶助費の適正化を図り、生活保護の扶助費の改善率を増やすことをめざす。	出典：門真市／定義：頻回受診者や医療機関未受診者に対して、指導を行い、指導を行った結果、改善が図られた割合
	⑤-1	【29】 地震時等に著しく危険な密集市街地の面積	63ha (2023年度)	24ha	密集市街地の改善に向けて取り組む必要があることから、指標として設定。	国や大阪府の方針を踏まえ、密集市街地の解消をめざす。	出典：門真市／定義：密集市街地の面積
		【30】 市街化区域の割合	97.5% (2023年度)	100.0%	第二京阪道路沿道の市街化調整区域において、魅力あるまちづくりを進めることが重要であることから、指標として設定。	賑わいと交流のあるまちづくりをめざす。	出典：門真市／定義：第二京阪道路沿道の市街化調整区域のうち、市街化区域に変更した割合
		【31】 主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合	35.3% (2024年度)	70.0%	主要駅周辺の生活利便性の向上や賑わい、交流を生み出すまちの顔づくりの効果を高めるため、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合
まちづくり分野	⑤-2	【32】 住宅の耐震化率	88.1% (2020年度)	95.0%	住宅の耐震化を促進することが重要であることから、指標として設定。	国や大阪府の方針を踏まえ、住宅の耐震化率を95.0%以上とすることをめざす。	出典：門真市住宅・建築物耐震改修促進計画(改定版)／定義：市内の耐震性を満たす住宅の割合
		【33】 空き家率	17.0% (2023年度)	15.2%	安全・安心で快適に暮らせる環境づくりをめざすため、指標として設定。	国や大阪府の方針を踏まえ、進捗状況を勘案し、目標値を算出した。	出典：門真市／定義：門真市内における空き家の割合
	⑤-3	【34】 市民1人当たりの公園面積	1.21㎡ (2023年度)	2.00㎡	充実した憩いの空間があるまちづくりをめざすため、指標として設定。	条例では5.0㎡としているが、過去からの実績により、計画期間内で実現性の見込める目標値を設定した。	出典：門真市／定義：市民1人当たりに換算した公園面積
		【35】 市内緑化の年間増加面積	3,877㎡ (2023年度)	4,000㎡	良質な多岐が実感でき、憩いとうるおいのある、充実した生活環境の実現のため、市内の緑化面積増加に努める必要があることから、指標として設定。	「門真市まちづくり基本条例」及び「緑化計画書の手引き」に基づき、過去の実績及び進捗状況を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市まちづくり基本条例及び緑化計画書の手引き／定義：年度ごとに増加した市内緑化面積
		【36】 長寿命化対策を実施した公園施設数	13箇所 (2023年度)	20箇所	公園施設を、安全・安心に利用し続ける必要があることから、指標として設定。	「門真市公園施設長寿命化計画」に基づき、過去の実績及び進捗状況を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市公園施設長寿命化計画／定義：長寿命化対策を実施した公園施設数

※市民意識調査等のアンケート結果についての目標値は、統一的に(現在値÷2)+50% (一の位を四捨五入) を目標値としている。

分野	施策番号	【指標番号】指標名	策定時	目標値	指標として設定する理由	目標値の考え方・積算など	指標の典拠・定義など
子育て分野	①-1	【1】 放課後児童クラブの待機児童数	0人 (2023年度)	0人	子育てしやすいまちづくりに向けて、希望する家庭がいつでも放課後児童クラブを利用できる環境づくりが重要であることから、指標として設定。	希望する家庭がいつでも放課後児童クラブが利用できる受入れ枠を確保している状況を継続する。	出典：門真市／定義：年度当初時点の放課後児童クラブの待機児童数
		【2】 子どもの未来応援団員から情報提供を受けて支援に動き出した件数	195件 (2023年度)	300件	支援に動き出すことで、重大な事案を未然に防ぎ、支援体制を充実させる必要があることから、指標として設定。	支援体制を整えることで情報提供数を増加させ、充実した支援をめざす。	出典：門真市／定義：子どもの未来応援団員から情報提供を受け、それに対応した件数
	①-2	【3】 4か月児健康診査対象者の受診率	88.3%	98.0%	全ての乳児を対象とする健康診査であり、健やかな発育・発達を確認する大切な機会であるため、受診率の向上が重要であることから、指標として設定。	健やか親子21(第2次)に掲げる目標値(乳幼児健康診査の未受診率)になり、目標値を設定した。	出典：「健やか親子21(第2次)」の基盤課題A「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」／定義：乳幼児健康診査の受診率
		1歳6か月児健康診査対象者の受診率	90.0%	97.0%			
		3歳6か月児健康診査対象者の受診率	91.1% (2023年度)	95.0%			
		【4】 妊娠11週以下での妊娠の届出率	95.8% (2023年度)	99.8%	切れ目ない支援が妊娠初期から可能になるため、速やかな妊娠の届出を促す必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：地域保健・健康促進事業報告／定義：妊娠届出数のうち、妊娠11週以下で届出をした者の割合
	①-3	【5】 保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていると思う人の割合	70.8% (2024年度)	90.0%	安心して子育てしやすい環境づくりのため、保育サービス及び子育て家庭への支援施策の実効性をはかる必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
		【6】 要保護児童連絡調整会議による新規登録件数	369件 (2023年度)	286件	児童虐待を早期に発見し支援することで、子どもの安全が守られる子育て環境づくりを構築することが重要であることから、指標として設定。	これまでの相談・対応状況を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：要保護児童連絡調整会議で新規に登録を受けた件数
教育分野	①-4	【7】 年度末時点の保育所等の待機児童数	4人 (2023年度)	0人	働きながら子育てができる環境づくりを推進するため、年間を通じて待機児童解消に努めることが重要であることから、指標として設定。	保育所等の受入れ枠の確保により、待機児童を解消する。	出典：厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」／定義：年度末時点の保育所等の待機児童数
		【8】 門真市は安心して楽しく子育てができる環境だと思う人の割合	30.7% (2024年度)	70.0%	施策を通じて、子育て世帯への負担を減らし、安心して子育てができる環境を整備する必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合
	②-1	【9】 全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を100とした時の相対的な比較数値)	小学校…96.8 中学校…96.7 (2024年度)	小学校…105 中学校…105	学校教育において、全ての児童・生徒の学力の向上、及び学習指導要領の内容が確実に実施されているかを確認する指標として設定した。	児童・生徒の標準化得点が全国平均を上回ることをめざす。	出典：全国学力・学習状況調査／定義：全国学力・学習状況調査の標準化得点／(全国を100とした時の相対的な比較数値)
		【10】 授業の中で、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童・生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校…79.7% 中学校…80.3% (2024年度)	小学校…85.0% 中学校…85.0%	多様な未来を生き抜く力を育むため、児童・生徒の物事に取り組む意欲を高め、学習意欲の向上につなげるということが重要であることから、指標として設定。	過去のアンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：全国学力・学習状況調査／定義：「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童・生徒の割合
	②-2	【11】 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する肯定的意見の割合(小6、中3の平均)	81.9% (2024年度)	90.0%	児童・生徒の自己実現や自己確立のため、自己肯定感を醸成することが重要であることから、指標として設定。	過去の調査結果を踏まえ、児童・生徒の自己肯定感を高めることを目標に設定した。	出典：全国学力・学習状況調査／定義：「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに肯定的意見を答えた児童・生徒の割合
		【12】 子どもが健やかに成長していると感じている人の割合	74.4% (2024年度)	90.0%	心豊かでたくましい子どもを育む取組を進めるため、本市の状況をはかる必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合
		【13】 小学5年生の体力合計点の国との比較(本市平均点/全国平均点)	93.6% (2023年度)	105.0%	児童の運動能力が全国平均を上回るよう取組を進めているため、指標として設定。	児童の運動能力が全国平均を上回ることをめざす。	出典：全国体力・運動能力、運動習慣等調査／定義：門真市の体力合計点/全国の体力合計点
	②-3	【14】 トイレの洋式化率	62.7% (2023年度)	70.0%	快適な学校教育環境の整備のため、施設の老朽化への対応として、学校のトイレ改修を進めているため、指標として設定。	快適な学校教育環境の整備において、改修を計画通り完了することをめざす。	出典：門真市／定義：市内中小学校のトイレの洋式化率
		【15】 「授業でパソコンを使って自分のペースで学ぶことができる」と思う児童・生徒の割合	新設	100.0%	教育のICT環境を整備し、児童・生徒の情報活用能力を育成することを前提に、「子ども主体の学び」に1人1台端末が有効に活用されているかをはかる指標として設定。	令和の日本型学校教育の実現をめざす中で、1人1台端末の有効活用が必須であることから、目標値を設定した。	出典：学校教育診断／定義：「授業でパソコンを使って自分のペースで学ぶことができる」という問いに肯定的意見を答えた児童・生徒の割合
健康管理分野	③-1	【16】 健康寿命の大阪府平均との差	男△1.44歳 女△0.86歳 (2022年度)	男女共に0歳以上	健康増進計画の推進において、取組の評価をする上で重要な指標であるため、健康長寿を表す指標として設定。	国や大阪府の方針を踏まえ、健康寿命を延ばすことをめざす。	出典：厚生労働科学研究の健康寿命計算プログラムを用いて、大阪がん循環器病予防センターにて算出／定義：介護保険要支援(要介護)認定者数より算出
		【17】 がん検診の受診率 肺がん検診 胃がん検診 大腸がん検診 子宮がん検診 乳がん検診	10.4% 1.6% 6.2% 8.3% 6.0% (2023年度)	各種検診 50.0%	がんの早期発見・早期治療において、検診が重要なため、検診の受診を促進する必要があることから、指標として設定。	第4次大阪府健康増進計画において、がん検診受診率の目標値を50%としているため、50%をめざす。	出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」がん検診受診率(国民生活基礎調査)、「第4次大阪府健康増進計画」／定義：「がん検診受診率」※40～69歳(胃がんは50～69歳、子宮頸がんは20～69歳)を対象として算定

分野	施策番号	【指標番号】指標名	策定時	目標値	指標として設定する理由	目標値の考え方・積算など	指標の典拠・定義など
地域振興分野	⑧-4	【58】人権講座の年間延べ参加人数	161人 (2023年度)	500人	人権尊重の理念が一層定着するよう講座の開催等、啓発に取り組む必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：年間における人権講座参加者数
		【59】女性相談の利用者数	2,371人 (2023年度)	5,000人	女性が仕事や地域活動等あらゆる分野において積極的に参画できるよう支援しているため、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：女性相談の延べ利用者数
		【60】平和で人権が守られていると感じる人の割合	76.9% (2024年度)	90.0%	平和を愛する意識の高揚を図り、基本的人権の尊さを啓発することが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「とてもそう思う」「そう思う」と回答した割合
	⑧-5	【61】在住外国人と活発に交流できていると思う人の割合	81.0% (2024年度)	90.0%	市民が国際感覚を高め、外国人とも暮らしの文化の違いを認め合い、ともに楽しく暮らせる環境が整ったまちをつくるため、在住外国人と活発に交流することが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
		【62】国外の都市との交流が行われていると思う人の割合	81.3% (2024年度)	90.0%	国際社会への関心と、外国人との相互理解を促進するため、国外の都市との交流が重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
産業振興分野	⑨-1	【63】市内に事業所を有する全産業における付加価値額 ※付加価値額：事業所の生産活動によって新たに生み出された価値のこと 付加価値額＝売上高－費用総額+給与総額+租税公課	3,299億円 (2021年度)	3,391億円×(2020年－2030年国内実質GDP伸び率)を上回ること。	産業が活性化し、生産性・収益力の高い企業が集積するまちをつくるため、指標として設定。	2020-2030年国内実質GDP伸び率をベースラインとし、それを上回ることをめざす。	出典：経済センサス活動調査／定義：次式より算出 3,391億円×(2020年-2030年の国内実質GDP伸び率)
		【64】活発な工業活動ができるような環境になっていると感じる市民の割合	82.1% (2024年度)	90.0%	産業が活性化しているまちをつくるため、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
	⑨-2	【65】市内常住の市内従業員の割合	32.0% (2020年度)	33.2%	地元の人が地元で働きやすく、また、子育て中の女性、高齢者等、様々な人が活躍できるまちをつくるため、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：国勢調査／定義：市内常住かつ市内在勤の従業員数／市内従業員の全従業員数
		【66】【女性】市内常住の市内従業員の割合	43.4% (2020年度)	45.0%	女性が職場において活躍できる環境整備を推進する必要があることから、指標として設定。	女性の雇用環境の状況を踏まえ、北河内7市の平均予測値を上回ることを目標に環境整備を進めていく。	出典：国勢調査／定義：市内常住かつ市内在勤の従業員数／市内従業員の全従業員数
地域教育振興分野	⑩-1	【67】生涯学習活動をしたことがある人の割合	31.1% (2024年度)	70.0%	生涯にわたり学習や仲間づくりができるまちをつくるため、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「1年以内に活動したことがある」、「1年以上前に活動していたことがある」と回答した割合
		【68】図書館を利用したことがある人の割合	32.9% (2024年度)	70.0%	学びを楽しむ機会や場を充実し、多くの市民に利用されることが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「利用したことがある」と回答した割合
	⑩-2	【69】ルミエールホールの稼働率	47.9% (2023年度)	60.0%	文化活動の拠点となる施設であるルミエールホールの稼働率を文化活動の活性化をはかる指標として設定。	「地域の公立文化施設実態調査」の全国平均値58.5%を上回る目標値を設定した。	出典：門真市／定義：ルミエールホールが市民に利用されている時間の割合
		【70】文化関係のサークル活動や団体に参加している市民の割合	8.4% (2024年度)	60.0%	市民一人ひとりの活発な文化芸術活動を推進することが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「定期的に参加している」、「不定期に参加している」と回答した割合
	⑩-3	【71】歴史資料館の年間入館者数	749人 (2022年度)	6,000人	伝統文化に親しみを持ち、市民が愛着と誇りを感じることができるとまちをめざすため、多くの市民に利用されることが重要であることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：年間における歴史資料館の入館者数
		【72】市民学芸員年間活動回数	2回 (2023年度)	24回	市民学芸員を通して市民全体への文化財愛護の啓発をはかる必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：年間における市民学芸員の活動回数
	⑩-4	【73】スポーツ・レクリエーション事業への参加者数	6,923人 (2023年度)	9,000人	スポーツを通して市民がつながるまちをつくるため、スポーツ・レクリエーション事業の参加者を増加させる必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：スポーツ・レクリエーション事業への参加者数
		【74】スポーツ・レクリエーション事業参加者のうち、過去1年間に全くスポーツ・レクリエーション活動をしなかった人の割合	28.1% (2023年度)	15.0%	スポーツを通して市民がつながるまちをめざすため、スポーツ・レクリエーション活動をしないう人に参加を促す必要があることから、指標として設定。	過去のアンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：スポーツ・レクリエーション事業参加者アンケート調査／定義：「過去1年間に全く実施しなかった」と回答した割合

※市民意識調査等のアンケート結果についての目標値は、統一的に(現在値÷2)+50%（一の位を四捨五入）を目標値としている。

分野	施策番号	【指標番号】指標名	策定時	目標値	指標として設定する理由	目標値の考え方・積算など	指標の典拠・定義など
まちづくり分野	⑤-4	【37】大和田駅前南側広場の整備	未整備 (2023年度)	整備完了	大和田駅の交通結節点機能の向上、駅周辺の密集市街地解消もはかれることから、指標として設定。	整備スケジュール計画に基づき、整備を計画通り完了することをめざす。	出典：門真市／定義：大和田駅前南側広場の整備状況
		【38】バスや鉄道等の公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合	68.4% (2024年度)	80.0%	バスや鉄道等の公共交通機関が利用しやすいまちを実現する必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
	⑤-5	【39】都市計画道路整備延長	25.25km (2023年度)	26.04km	安全・安心で快適な道路環境づくりのため、都市計画道路整備延長を進める必要があることから、指標として設定。	道路の整備状況等を踏まえ、計画に基づき目標をめざす。	出典：門真市／定義：大和田駅三ツ島線の道路整備状況
		【40】年間歩道改良箇所数	3箇所 (2023年度)	5箇所	誰もが安心して通行できる歩道の安全性の向上が求められているため、歩道の改良を進めていく必要があることから、指標として設定。	整備の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：年間の市内歩道の改良箇所数
		【41】年間交通事故発生件数	370件 (2023年度)	300件	交通安全対策を実施し、交通事故発生件数を減少させる必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：大阪府警察／定義：年間の市内交通事故発生件数
環境分野	⑥-1	【42】市民一人一日当たりのごみ排出量	919g (2023年度)	870g	ごみの分別と4Rを実践し、市民や環境にやさしいまちにするため、市民一人当たりのごみの減量化を進める必要があることから、指標として設定。	環境省の「1日1人当たりのごみ排出量」と同等となることをめざす。	出典：環境省 一般廃棄物処理実態調査／定義：市民一人当たりが一日に排出するごみ排出量
		【43】温室効果ガスの総排出量	22,300 t-CO ₂ (2023年度)	19,685 t-CO ₂	脱炭素社会の構築のため、温室効果ガス排出量の削減をはかる必要があることから、指標として設定。	国の目標に基づいて、市内の排出量の実績を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市地球温暖化対策実行計画(門真市エコオフィス推進計画)／定義：年度ごとの排出係数より算出
	⑥-2	【44】清掃活動の参加者数	4,564人 (2023年度)	6,000人	地域清掃活動の参加者数を増やし、まちの環境美化を促進していく必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：市内清掃活動の参加者数
		【45】公害が少ない環境の良いまちだと思う市民の割合	42.9% (2024年度)	70.0%	公害が少ない環境の良いまちを実現する必要があることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合
上下水道分野	⑦-1	【47】管路の耐震化率	25.4% (2023年度)	32.1%	地域全体の安定供給を確保するため、管路の耐震化を進めることが重要であることから、指標として設定。	整備の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市水道事業ビジョン／定義：管路総延長に対する耐震管延長の割合
		【48】配水池の耐震化率	56.3% (2023年度)	83.5%	地域全体の安定供給を確保するため、配水池の耐震化を進めることが重要であることから、指標として設定。	整備の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市水道事業ビジョン／定義：配水池全体の貯水量に対する耐震化された配水池の貯水量の割合
	⑦-2	【49】ポンプ所の耐震化率	70.3% (2023年度)	100.0%	地域全体の安定供給を確保するため、ポンプ施設の耐震化を進めることが重要であることから、指標として設定。	整備の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市水道事業ビジョン／定義：全ポンプ所の配水能力に対する耐震化されたポンプ所の配水能力の割合
		【50】下水道の処理人口普及率	97.9% (2023年度)	99.8%	下水道が完備された安心・快適なまちづくりのため、指標として設定。	現状の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：門真市の行政人口に対する下水道処理人口の割合
地域振興分野	⑧-1	【51】下水道による浸水対策達成率	90.8% (2023年度)	94.0%	下水道整備済み区域の面積を増加させることが重要であることから、指標として設定。	現状の進捗具合を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：公共下水道事業許可区域面積(河川面積除く1,213.45ha)に対する整備が完了した地区の実排水面積割合
		【52】互いに助け合い、支え合う地域のつながりができていると思う割合	79.3% (2024年度)	90.0%	地域のつながりを育み、住みよいまちづくりを進めているため、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：門真市市民意識調査／定義：「満足」、「やや満足」、「普通」と回答した割合
	⑧-2	【53】地域の活動に今後参加したいと考えている市民の割合	23.8% (2024年度)	70.0%	地域コミュニティの活性化のため、コミュニティ意識の醸成が必要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：門真市市民意識調査／定義：「非常に思う」、「やや思う」と回答した割合
		【54】大学・企業との包括連携事業実績数	48回 (2023年度)	60回	協働・共創により飛躍するまちをめざしているため、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：大学・企業との包括連携事業実績数
	⑧-3	【55】NPO法人やボランティア活動に参加している人の割合	16.5% (2024年度)	60.0%	協働・共創による効果的な活動を促進することが重要であることから、指標として設定。	過去の市民アンケートの結果を踏まえ、目標値を設定した。	出典：門真市市民意識調査／定義：「積極的に参加している」、「時々参加している」、「まれにだが、参加したことはある」と回答した割合
		【56】消費相談あっせん率	10.0% (2023年度)	20.0%	消費者相談を通じて消費者被害の解消や軽減、早期救済することが重要であることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：消費者と事業者との間に立って解決策を提示することなどにより解決した割合
		【57】無料法律相談の稼働率	80.4% (2023年度)	90.0%	市民が抱えている法的問題に対応できる相談体制の充実をはかる必要があることから、指標として設定。	実績値を勘案し、目標値を設定した。	出典：門真市／定義：無料法律相談可能件数に対して相談を実施した件数の割合

門真市第6次総合計画改訂版策定手順概要

門真市第6次総合計画改訂方針の制定

令和6(2024)年2月9日

門真市第6次総合計画改訂版策定方針の決定

令和6(2024)年4月1日

門真市第6次総合計画改訂版策定にかかる市民意見

門真市市民意識調査

庁内会議

門真市総合計画策定委員会

事務局
(企画財政部企画課)

門真市第6次総合計画改訂版
策定のための資料作成

基本構想・基本計画骨子の決定

基本構想・基本計画素案の決定

門真市総合計画審議会

令和6(2024)年4月17日

全体での審議

市民からの意見聴取
(パブリックコメント)

令和6(2024)年10月4日～
令和6(2024)年10月25日

門真市第6次総合計画
改訂版(案)の公表

門真市第6次総合計画
改訂版(案)の決定

庁議

基本構想 令和6(2024)年11月18日
基本計画 令和7(2025)年2月10日

門真市議会

基本構想の議決
令和6(2024)年12月17日

門真市第6次総合計画改訂版の決定
(基本構想及び基本計画)

令和7(2025)年3月

※市民意識調査等のアンケート結果についての目標値は、統一的に(現在値÷2)+50%(一の位を四捨五入)を目標値としている。

分野

施策
番号

[指標番号]指標名

策定時

目標値

指標として設定する理由

目標値の考え方・積算など

指標の典拠・定義など

危機管理
分野

⑪-1

[75] 災害協定締結数
52
(2023年度)

60

市民の生命・身体及び財産を守ることが
できる危機管理体制の整備を推進する
必要があることから、指標として設
定。

災害協定締結数の増加をめざし、過去の
推移を踏まえ、目標値を設定した。

出典：門真市／定義：門真市を
含む大阪府内以外の都道府県の
市町村との災害締結数

[76] 門真市は犯罪や
事故、災害の心配が少な
い安全・安心なまちだ
と思う人の割合
24.7%
(2024年度)

60.0%

犯罪や事故、災害の心配が少ないまちを
めざした取組を推進していることから、
指標として設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「とてもそう思う」、「そう思
う」と回答した割合

⑪-2

[77] 「あなたは、災害
に向けた備えをしてい
ますか。」で、「最寄りの
避難場所を確認してい
る」と回答した割合
53.4%
(2024年度)

80.0%

災害時の対応や防犯対策に大きな役割
を果たす「自助・共助」の意識醸成を図
るため、日ごろの備えとして重要な事項
であることから、指標として設
定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「最寄りの避難場所を確認
している」と回答した割合

[78] 「あなたは、災害
に向けた備えをしてい
ますか。」で、「非常持出
袋を準備している」と回
答した割合
32.9%
(2024年度)

70.0%

災害時の対応や防犯対策に大きな役割
を果たす「自助・共助」の意識醸成を図
るため、日ごろの備えとして重要な事項
であることから、指標として設
定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「非常持出袋を準備してい
る」と回答した割合

[79] 門真市の刑法犯
認知件数
1,406件
(2023年度)

700件

災害や犯罪への不安が少ない、誰もが安
心して暮らせるまちをめざすため、指標
として設定。

実績値を勘案し、目標値を設定した。

出典：門真警察署／定義：年間
における市内刑法犯認知件数

⑪-3

[80] 建物火災発生件
数
25件
(2023年度)

10件

多発化、大規模化、多様化しつつある災
害に対応するため、火災予防(防火)意識
の醸成をはかる必要があることから、指
標として設定。

実績値を勘案し、目標値を設定した。

出典：消防年報(守口市門真市
消防組合)／定義：建物火災発
生件数

[81] 救急医療情報
キット年間申請者数
43人
(2023年度)

50人

一人暮らしの高齢者や高齢世帯、障がい
者など健康に不安を抱えている人等も、
安全・安心に暮らせるまちをめざすた
め、指標として設定。

実績値を勘案し、目標値を設定した。

出典：門真市／定義：救急医療
情報キット年間申請者数

行政
管理
分野

⑫-1

[82] 迅速で明るく、わ
かりやすい窓口サービ
スがなされていること
70.9%
(2024年度)

90.0%

スムーズに行政手続きができるまちを
つくるため、指標として設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「とてもそう思う」、「そう思
う」と回答した割合

[83] 市役所職員の対
応・行動が「良い」と感
じている人の割合
67.4%
(2024年度)

80.0%

一層信頼される開かれた市政運営をめ
ざすため、限られた職員数で効率的・効
果的な窓口サービスを推進する必要が
あることから、指標として設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「とてもそう思う」、「そう思
う」と回答した割合

⑫-2

[84] 広報かどまを「よ
く見る」と回答した市民
の割合
43.0%
(2024年度)

70.0%

積極的な情報発信で、市役所と市民との
信頼関係が築かれたまちをつくるため、
指標として設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「よく見る」と回答した割合

[85] Xフォローワー数
6,100人
(2023年度)

6,350人

市役所を身近に感じてもらうため、主力
の情報発信ツールであるXのフォロ
ワー数を指標として設定。

実績値を勘案し、目標値を設定した。

出典：門真市／定義：市公X
のフォローワー数

⑫-3

[86] 20～30代の転
出超過数
73人
(2023年度)

△120人

バランスの取れた人口構成を実現する
ため、20～30代の転出を抑制し、転入
を促進する必要があることから、指標と
して設定。

転出抑制・転入促進により、平成30年
時点(380人)から500人増をめざす。

出典：門真市／定義：20～30
代の転出超過数

[87] 市民の地域推奨
意欲
5.6%
(2024年度)

50.0%

本市のイメージ向上を図り、このまちに
住みたい、住み続けたいと思う人を増や
すため、市民の地域推奨意欲を高める必
要があることから、指標として設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「8」、「9」、「10」と回答し
た割合

⑫-4

[88] 公共施設を利用
する市民の満足度
67.3%
(2024年度)

80.0%

行ってみたい、使ってみたいと思える公
共施設があるまちをつくるため、指標と
して設定。

過去の市民アンケートの結果を踏まえ、
目標値を設定した。

出典：門真市市民意識調査／定
義：「とても満足している」、「や
や満足している」と回答した割
合

[89] 公共施設の延床
面積の削減率
—

12.5%

門真市公共施設等総合管理計画に基づ
き、施設総量の適正化を図る必要がある
ことから、指標として設定。

門真市公共施設等総合管理計画に基づ
き、計画通り適正に進捗していることを
めざす。

出典：門真市公共施設等総合管
理計画／定義：市内公共施設に
おいて、延床面積を削減した割
合

門真市総合計画条例

平成 29 年 12 月 20 日門真市条例第 27 号

門真市総合計画条例

(趣旨)

第 1 条 この条例は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、総合計画の策定等に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 市の最上位の計画として、基本構想、基本計画及び実施計画をもって構成するものをいう。
- (2) 基本構想 将来のまちづくりの展望及び方向性を示し、並びにこれらの達成に向けた基本目標を明らかにするものをいう。
- (3) 基本計画 行政各分野の諸施策の方針、目指すべき指標等を総合的かつ体系的に明らかにするものをいう。
- (4) 実施計画 基本計画における諸施策の効果的な実施のための指針であり、その基礎となる事業を定めるものをいう。

(門真市総合計画審議会)

第 3 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、門真市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会は、市長の諮問に応じ、総合計画に関する事項について調査し、及び審議する。

3 前 2 項に定めるもののほか、審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(審議会への諮問)

第 4 条 市長は、基本構想及び基本計画を策定し、又は変更しようとするときは、審議会に諮問しなければならない。

(議会の議決)

第 5 条 市長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、前条に規定する手続を経た上で、議会の議決を経なければならない。

(総合計画との整合性の確保)

第 6 条 市長は、個別の行政分野における基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更するに当たっては、総合計画との整合を図るものとする。

(委任)

第 7 条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(門真市総合計画審議会条例の廃止)

2 門真市総合計画審議会条例(昭和 43 年条例第 34 号)は、廃止する。

門真市第 6 次総合計画改訂版策定経過

年 月 日	総合計画審議会	策定委員会等(庁内組織)	市民参画・市議会・その他
令和 6 (2024) 年			
2月9日		庁議(門真市第 6 次総合計画改訂方針) 門真市第 6 次総合計画改訂方針の制定	
4月10日		第 1 回門真市総合計画策定委員会	
4月17日	第 1 回門真市総合計画審議会 (正副会長の選出、諮問)		
5月27日～ 6月21日			市民意識調査
7月31日		第 2 回門真市総合計画策定委員会	
8月8日	第 2 回門真市総合計画審議会		
9月12日		第 3 回門真市総合計画策定委員会	
9月30日	第 3 回門真市総合計画審議会		
10月4日～ 10月25日			市民意見募集 (パブリックコメント)の実施
10月31日		第 4 回門真市総合計画策定委員会	
11月11日	第 4 回門真市総合計画審議会(答申)		
12月17日			門真市議会において基本構想(案)の議決
令和 7 (2025) 年			
2月10日		庁議(基本計画)	
3月		門真市第 6 次総合計画改訂版の決定	

市民参画で生まれた意見やアイデア

市民ワールドカフェで 多く出た意見・アイデア（抜粋）

理想の将来像	将来像実現のために必要なこと
☆ 学習意欲の盛んなまち	◎ 将来を見据えて考える力を育てる
☆ 緑あふれ道路整備行き届いたまち	◎ 道路を整えきれいなまちに
☆ 企業が元気なまち	◎ 企業を育てる
☆ 子どもが安全・安心に遊べるまち	◎ 子どもたちが自由に遊べる場所が必要
☆ 子ども・高齢者が住みやすいまち	◎ 助け合い、声かけられるまちに
☆ 安心して子育てできるまち	◎ 人を思いやる心を持つ



こんなまちになったらいいな
市民ワールドカフェ in かどま
～みなさんの想いを聞かせてください～

開催：平成 30 (2018) 年 7 月

参加者：52 名

内容：門真市の魅力や課題、
理想の将来像 等について意見交換
していただきました。

市民会議で生まれた意見（抜粋）

未来の門真への想い	みんなが出来ることのアイデア
☆ 産業が元気なまち	◎ 買物を市内でする
☆ 若者が活躍できるまち	◎ 若者が集まるイベント作り
☆ 教育に対して関心が高いまち	◎ 学び続ける事が大切という認識の共有
☆ みんなで生活をより良くするまち	◎ 自治会に積極的に参加する
☆ 子どもが安心して暮らせるまち	◎ すぐに声掛けできるまちづくり
☆ 笑顔が日本一	◎ 自分たちのまちに興味をもつ
☆ 笑い声の絶えないまち	◎ 隣近所の人々と仲良くあいさつする
☆ いくつになっても仕事に困らないまち	◎ 身体をうごかす健康づくり
☆ 未来をたくす子どもが夢をもてるまち	◎ ボランティアに参加する



第1回



第2回



第3回



第4回

市民会議（全4回）

開催：平成 30 (2018) 年 7 月
～平成 31 (2019) 年 3 月

参加者：88 名（延べ）

内容：基本構想の将来像
基本計画のみんなが協力できること
総合計画のデザイン 等について
グループワーク形式で
議論していただきました。

中学生の想い（抜粋）

これからの時代を担う若者の住みたいまち

☆ 交通の便が良いまちに住みたい
☆ 映画がみれる場所が出来たら嬉しい
☆ 道や区画が広くてキレイで整理されたまちに住みたい
☆ 近くにコンビニは絶対ほしい
☆ 近くに大型ショッピングモールがあるまちに住みたい
☆ 汚いまちはいや、ゴミの落ちていないまちに住みたい
☆ 誇れるものがあるまちは良いと思う



市長と中学生との意見交換会

開催：令和元 (2019) 年 8 月

参加者：22 名

内容：どんなまちに住みたいか
10年後の未来を想像する 等
門真市に対する想いや意見を
市長に直接伝え、
意見交換していただきました。

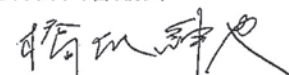
答 申 書

令和 6 年 11 月 11 日

門真市長 宮本 一孝 様

門真市総合計画審議会

会長



門真市第 6 次総合計画（改訂版）について（答申）

令和 6 年 4 月 17 日付け門企企第 95 号をもって諮問された「門真市第 6 次総合計画（改訂版）」の策定について、当審議会は 4 回の会議において、慎重に審議を重ね、当審議会の意見や指摘に対し修正も加えられた経過をふまえ、本案を適当と判断し、別添のとおり答申します。

なお、本計画の推進にあたっては、当審議会の審議過程で述べられた意見や要望に十分配慮されるとともに、計画に示される施策について着実に実行されることを要望します。

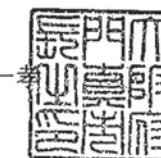
門真市総合計画審議会



門企企第 95 号
令和 6 年 4 月 17 日

門真市総合計画審議会 会長 様

門真市長 宮本 一孝



門真市第 6 次総合計画について（諮問）

門真市総合計画条例第 3 条第 2 項の規定に基づき、門真市第 6 次総合計画の改訂に関し、貴審議会の意見を求めます。



第 4 回門真市総合計画審議会



用 語	説 明	頁	掲載箇所
あ アウトリーチ活動	必要な支援に自らアクセスできない人に対して、積極的に働きかけて情報や支援を届ける活動のことをいいます。	72	基本計画(中段)
い 育成就労	国内の人手不足分野における人材の育成・確保を目的として創設された新たな在留資格の制度をいいます。	28	基本構想(上段)
一次救急(初期救急)	開業医や休日夜間急患(急病)センターによる、高熱や家庭では処置できない切り傷といった症状の診察治療のことをいいます。	126	基本計画(下段)
医療的ケア児	新生児特定集中治療室等への長期入院後、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理やたんの吸引、経管栄養等)が必要な児童のことをいいます。	76	基本計画(中段)
う ウォークابل	街路空間を車中心から人中心の空間へと再構築し、人々が多様な活動を繰り上げられる場としていく取組、もしくはその空間をいいます。	81	基本計画(下段)
え エンディングノート	自分の終末期や死後について、その方針等を書き留めておくノートのことをいいます。	75	基本計画(下段)
お 大阪府後期高齢者医療広域連合	保険料の決定や医療給付等を行う大阪府における後期高齢者医療制度の運営主体です。	71	基本計画(上段)

用 語	説 明	頁	掲載箇所
か カーボンニュートラル	温室効果ガスの排出量と吸収量が均衡している状態のことをいいます。	27	基本構想(下段)
カドマイスターを探せ!事業	卓越した技術等を有する企業を発見し、カドマイスターとして認定することで、広く情報発信し、企業が躍進できるよう支援することを目的とした認定制度のことをいいます。	110	基本計画(中段)
き 基金	地方公共団体が特定の目的のために維持する不動産・有価証券・預金等の財産のことをいいます。	30	基本構想(中段)
キッズサポーター	子どもたちの通学における安全を確保するため、通学時に付き添いや通学路・交差点での立哨(りっしょう)等、地域住民の皆さんに子どもの見守り活動のボランティアとして協力してもらうものをいいます。	65	基本計画(下段)
キャリア発達	社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいいます。	25	基本構想(上段)
救急医療情報キット	かかりつけの病院や持病等の医療情報を納めておく専用容器のことをいいます。	75	基本計画(下段)
け 刑法犯認知件数	警察等によって認知されている刑法犯の発生件数のことをいいます。	22	基本構想(下段)
健康寿命	健康な状態で生存する期間のことをいいます。	27	基本構想(上段)
こ 合計特殊出生率	15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標のことをいいます。	34	基本構想(上段)
公債費	公債の償還や利子の支払いに要する経費のことをいいます。	30	基本構想(下段)
国庫補助及び負担金改革	「三位一体改革」で「基本方針2004」及び全体像に関する政府・与党合意においては、平成17年度及び平成18年度に地方公共団体に対する国庫補助負担金について3兆円程度の廃止・縮減等の改革を実施することとされました。	30	基本構想(上段)
コミュニティスクール	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくための学校運営協議会を設置した学校をいいます。	62	基本計画(下段)
コミュニティソーシャルワーカー (CSW)	地域において要援護者等に対し、見守りや相談に応じる個別支援、人間関係や生活環境面に関する地域支援を果たすと同時に、住民の地域自立生活を支援するための公的制度のあり方を提案する地域福祉のための専門職のことをいいます。	72	基本計画(中段)
コミュニティバス	交通空白地域・不便地域の解消等を図るため、市町村等が主体的に計画して運行するバス等をいいます。	24	基本構想(上段)

用 語	説 明	頁	掲載箇所
さ 三次救急	救命救急センターによる、生命に危険が及ぶような重症・重篤患者への対応のことをいいます。	126	基本計画(中段)
し 施設包括管理委託	複数の施設、業務を一括して民間事業者に委託する発注方式をいいます。	135	基本計画(上段)
指定管理者制度	地方公共団体が住民の福祉を推進する目的で設置した公の施設の管理運営を、地方公共団体が指定した民間事業者を含む法人・団体が行う制度のことをいいます。	76	基本計画(中段)
住宅セーフティネット	所得水準・家族構成・身体的状況にかかわらず、低所得者、障がい者、高齢者等が独力で速やかに住宅を確保し、最低限の安全な暮らしを保障できるようにする社会的な仕組みのことをいいます。	82	基本計画(中段)
受益者負担	特定の公共事業に必要な経費にあてるため、その事業によって特別の利益を受ける者が経費の一部を負担することをいいます。	46	基本計画(中段)
小地域ネットワーク活動	「見守り・声かけ訪問活動」や「ふれあい食事サービス」「子育てサロン活動」を通じて、地域で孤立しがちな高齢者や障がい者(児)、子育て中の親と子等を関係機関やサービスにつなげる支援等を行っていく活動のこと。	72	基本計画(中段)

門真市総合計画審議会委員名簿

門真市総合計画条例第3条第2項に基づく区分による
(各号委員内50音順;敬称略)

◎会長 ○副会長

区 分	氏 名	役 職
第1号委員 (学識経験者)	青 瀧 博 文	関西テレビ放送株式会社 コンプライアンス推進局放送倫理・考査部長
	岡 田 進 一	大阪公立大学大学院生活科学研究科 教授
	田 中 豊	パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 総務センター 総務部部長
	玉 野 裕 子	門真公共職業安定所 所長
	中 村 浩一郎	株式会社三井住友銀行 公務法人営業第二部 公務法人営業第二部長
	西 川 寛	一般社団法人門真市医師会
	◎橋 爪 紳 也	大阪公立大学研究推進機構 特別教授
	松 宮 新 吾	追手門学院大学国際学部 教授
	○森 末 尚 孝	進陽法律事務所 弁護士
	山 上 起 男	ソフトバンク株式会社 公共事業推進本部 第二事業統括部 自治体DX 推進本部 DX推進二課 担当課長
	若 林 孝 男	サンロール株式会社 代表取締役
	鷲 見 英 利	株式会社官民連携事業研究所 代表取締役社長
第2号委員 (市民)	篠 永 幸 恵	(公募市民)
	高 橋 敏 夫	(公募市民)
	中 吉 美 智	(公募市民)
第3号委員 (関係行政機関)	谷 掛 千 里	大阪府守口保健所 所長
	山 田 幸 彦	守口市門真市消防組合消防本部 消防長
	渡 邊 信 人	大阪府門真警察署 署長

に	二次救急	24時間体制で手術ができる設備を備えた病院による入院や手術を必要とする患者が対象の診察治療のことをいいます。	126	基本計画(中段)
	認知症サポーター	「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する人(サポーター)のことです。なお、認知症キャラバンメイトは、「キャラバンメイト養成講座」修了者で、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務める人のことを言い、サポーター同様、オレンジリングが目印となっています。	21	基本構想(上段)
	認定こども園	保護者の就労の有無等に関わらず、就学前の子どもを受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行う施設をいいます。	59	基本計画(下段)
の	乗合タクシー	路線バス(乗合バス)とタクシーの中間的な公共交通機関のひとつで、ルートや運行時刻を定めず、利用者の予約に応じて、運行区域内を他の利用者と乗り合いによって運送する公共交通のこと。門真市では令和5(2023)年4月より3年間の予定で実施されている。	86	基本計画(中段)

は	用 語	説 明	頁	掲載箇所
は	8050問題	高齢の親と働いていない独身の50代の子とが同居している世帯に係る問題をいいます。	72	基本計画(中段)
ふ	プライマリーバランス (基礎的財政収支)	借入金を除いた税金等の正味の歳入と、借入金返済のための元利払いを除いた歳出の収支のことをいい、収支が均衡していれば、財政が健全であることを示します。	30	基本構想(上段)

ま		用 語	説 明	頁	掲載箇所
め	メタバース		ユーザー間で「コミュニケーション」が可能な、インターネット等のネットワークを通じてアクセスできる、仮想的なデジタル空間を言います。	27	基本構想(上段)

や				
	用 語	説 明	頁	掲載箇所
や	ヤングケアラー	家族の介護、その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者をいいます。	20	基本構想(上段)

ら	用 語	説 明	頁	掲載箇所
ら	ライフサイクルコスト	製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額のことをいいます。	94	基本計画(中段)
れ	令和の日本型学校教育	文部科学省の中央教育審議会の答申(令和3(2021)年1月)に登場した言葉で、2020年代を通じて実現を目指す学校教育の姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」としており、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備による「個別最適な学び」と、これまで日本型学校教育において重視されてきた「協働的な学び」とを一体的に充実することを目指している。	25	基本構想(中段)
ろ	ローリング方式	複数の年度にまたがる中長期計画を策定するために、毎年環境変化を考慮して計画を見直し、必要な改定を行う方法のことをいいます。	11	基本構想(中段)

わ				
	用 語	説 明	頁	掲載箇所
わ	ワークライフバランス	誰もがやりがいや充実感を感じながら働く一方で、育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった仕事以外の生活との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことをいいます。	29	基本構想(上段)

英

	用 語	説 明	頁	掲載箇所
A	AI (Artificial Intelligence)	人間が持っている、認識や推論などの能力をコンピューターでも可能にするための技術の総称のことをいいます。	110	基本計画(中段)
D	DX(デジタル・トランス フォーメーション)	デジタル技術を活用し、顧客目線での新たな価値創出やビジネスモデル、企業文化等の変革を実現する取組をいいます。	44	基本計画(中段)
G	GIGAスクール構想	学校教育において1人1台の端末環境を整備することで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりに公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指す取組をいいます。	25	基本構想(中段)
	GX(グリーン・トランス フォーメーション)	化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動をいいます。	27	基本構想(下段)
I	ICT (Information and Communication Technology)	情報・通信に関する技術の総称のことをいいます。従来から使われている「IT (Information Technology)」に代わる言葉として使われています。	25	基本構想(中段)

す				
す	スクールカウンセラー	学校に配置・派遣される臨床心理の専門家で、学校において児童生徒に対する相談、保護者及び教職員に対する相談等を受け、問題解決のための助言・指導等を行う人をいいます。	64	基本計画(中段)
	スケールメリット	規模を大きくすることで得られる利益のことをいいます。	41	基本構想(下段)
	ストックマネジメント	既存の建物やインフラについて、リスク評価等に基づき適切な維持管理を行うことで、有効活用と長寿命化を図ることをいいます。	98	基本計画(上段)
	スマートシティ	先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する取組をいいます。	27	基本構想(上段)
	スマートBiz★かどま	平成30年10月に策定された「行財政改善アクションプラン」に掲げられた持続可能な行財政運営の実現に向けて、『「成長」と「健全化」が両立しうる財政基盤の構築』と『時代の変化と多様なニーズに対応しうる組織文化の確立』をめざした取組等のことをいいます。	46	基本計画(上段)
せ	税源移譲	特定の徴税権・税収を国から地方公共団体に移すことをいい、特に、国税である所得税を減税し、地方税である住民税を増税することをいいます。	30	基本構想(上段)
	生産年齢人口	人口統計で、生産活動の中心となる15歳以上65歳未満の人口のことをいいます。	19	基本構想(上段)
	成熟社会	量的拡大のみを追求する経済成長が終息に向かう中で、精神的豊かさや生活の質の向上を重視する、平和で自由な社会のことをいいます。	29	基本構想(下段)
	生成AI	学習データをもとにテキスト、画像、音声等を自律的に生成できるAI技術の総称をいいます。	27	基本構想(上段)
そ	相対的貧困率	一定基準(貧困線)を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいいます。貧困線とは、等価可処分所得(世帯の可処分所得(収入から税金・社会保険料等を除きたいわゆる手取り収入)を世帯人員の平方根で割って調整した所得)の中央値の半分の額をいいます。	25	基本構想(上段)

	用 語	説 明	頁	掲載箇所
た	ダイバーシティ経営	多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営をいいます。	113	基本計画(下段)
	多文化共生社会	人種や国籍等の異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、地域の構成員として対等な関係を築こうとしながら、共に生きていく社会のこと。	28	基本構想(上段)
	団塊ジュニア世代	1971～74年に生まれた人を指します。	20	基本構想(上段)
ち	地域運営組織	地域で暮らす人々が中心となって形成された、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づきまちづくりを進める組織のこと。	100	基本計画(中段)
	地域共生社会	地域住民や地域の多様な主体が参画し、人々、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域をともに創っていく社会のこと。	72	基本計画(中段)
	地方交付税改革	三位一体改革の取組のひとつで、地方財政計画の計画と決算のかい離を是正し、適正計上を行い、その上で中期地方財政ビジョンを策定することとされました。さらに、交付団体(人口)の割合の拡大に向けた改革を検討するとともに、地方交付税の算定方法の簡素化、透明化に取り組み、また算定プロセスに地方関係団体の参画を図ることとされました。	30	基本構想(上段)
	地方財政ショック	国と地方の税財源を見直す三位一体改革の中で、総務省が示した地方財政計画で地方交付税が大幅に削減されたことをいいます。	30	基本構想(上段)
	昼間人口比率	夜間人口を100とした場合の昼間人口の指数をいいます。昼間人口は、常住人口(ある調査の時刻に、調査の地域に常住している場所(常住地)で調査する方法で把握した人口)に他の地域から通勤・通学してくる人口(流入人口)を足し、さらに他の地域へ通勤・通学する人口(流出人口)を引いたものです。	34	基本構想(中段)
	超スマート社会	必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会をいいます。	27	基本構想(上段)
て	デザインビルド	工事や設計業務等を発注する際の方式の一つで、設計及び施工の両方を単一業者に一括して発注する方式をいいます。	135	基本計画(上段)
	デジタル田園都市国家構想	デジタル実装を通じて地方が抱える課題を解決し、誰一人取り残されず、すべての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らしを実現するという構想をいいます。	27	基本構想(上段)
	テレワーク	情報通信技術(ICT=Information and Communication Technology)を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことをいいます。	27	基本構想(上段)
と	トワイライトステイ	保護者が、仕事等で平日の夜間または休日に不在となり、家庭で児童を養育することが困難な場合に、児童養護施設等で保護することができる事業をいいます。	59	基本計画(下段)

な				
用 語		説 明	頁	掲載箇所
な	南海トラフ地震臨時情報	今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が80%程度(令和7年1月1日現在)あるとされている、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報のこと。	22	基本構想(上段)

I	IoT (Internet of Things)	あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称のことをいいます。	110	基本計画(中段)
P	PDCAサイクル	計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)を繰り返し行うことで、継続的に見直しや改善をしていくための手法です。	47	基本計画(中段)
	PFI (Private Finance Initiative)	国や地方自治体が行ってきた道路や橋等の社会資本の整備・運営を民間主体に移管することをいいます。	128	基本計画(中段)
	PHR (Personal Health Record)	生涯にわたる個人の健康・医療に関わる情報(個人の健康や身体の情報記録した健康・医療・介護などのデータ)のことをいいます。	27	基本構想(上段)
	PPP (Public Private Partnership)	官と民がパートナーを組んで事業を行う新しい官民協力の形態のことをいいます。	128	基本計画(中段)
R	RPA (Robotic Process Automation)	これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するものです。	128	基本計画(中段)
S	Society 5.0	サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)のことをいいます。	62	基本計画(中段)
	SSW (スクールソーシャルワーカー)	学校に配置される教育と福祉に関する専門職で、問題を抱える児童生徒を取り巻く環境に働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりして、問題解決の支援を行う人をいいます。	62	基本計画(下段)
W	Web3	プラットフォーム等の仲介者を介さずに個人と個人が直接つながり、双方向でのデータ利用・分散管理を行うことが可能となる分散型ネットワーク環境のことをいいます。	27	基本構想(上段)
	WPPP	水道、下水道、工業用水道分野において、コンセッション事業へ段階的に移行するための官民連携方式を「管理・更新一体マネジメント方式」として新設し、コンセッション事業と併せて定義したものです。	98	基本計画(中段)
Z	ZEB	快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物をいいます。	27	基本構想(下段)

門真市第6次総合計画(改訂版)

発行：門真市
編集：門真市企画財政部 企画課



〒571-8585 大阪府門真市中町1-1
電話：06-6902-5572
ホームページ <https://www.city.kadoma.osaka.jp/>

